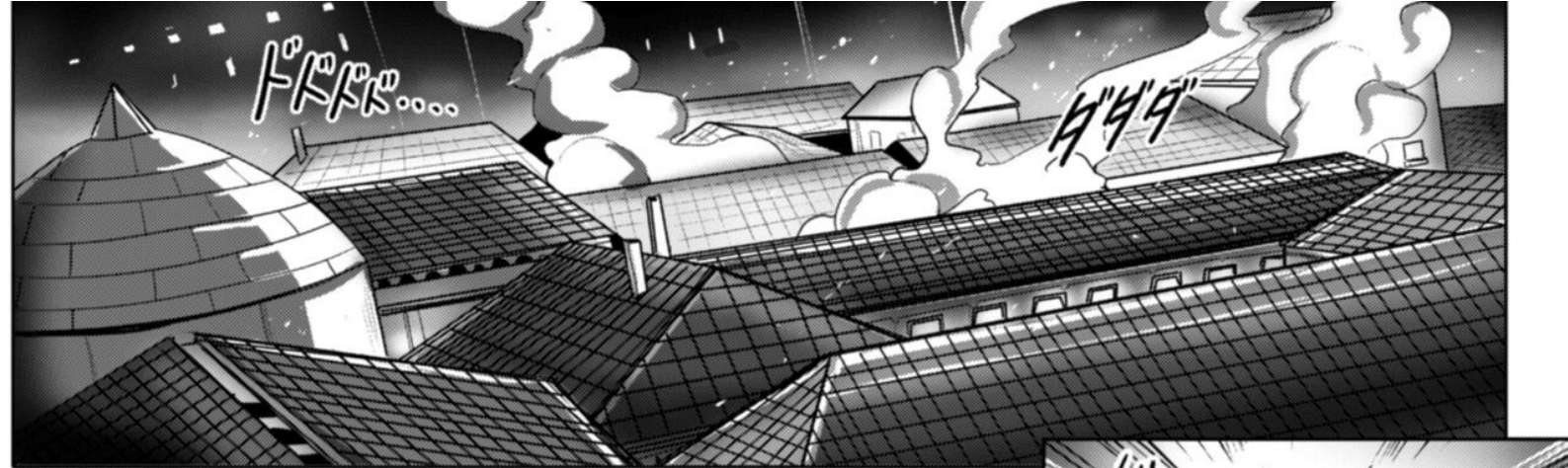










えっ
なによ…

アタシの獲物を
横取りする気か？

おいスズ
何してやがる

狙撃支援って
こういうもの
でしょう…？



そそんな
理不尽すぎるよ
ジャンナさん…

何回も言っただろ
アタシそういうもん
いらねえって

帰ったら
また殴るぞ！

無駄口
やめなさい

私語禁止と毎回
ブリーフィングの時にも
言ってるでしょう？



チッ
わかったよお
……

課長抵抗を
やめた敵戦闘員は
どうします？

今回は
殲滅任務だ
全員殺せ



ならよ
このラジコン人形
經由じゃなくて
本人も遊び
来れば
どうだ？



久しぶりの
多人数行動だから

規律を無視して
やり放題できると思うなよ
貴様ら



っーか
課長様さあ

マジで久々に現場に
来たじゃないか

今回の仕事そんなに
重要なんっすか？



トラックと偽装した
指揮車の中に
引き籠るより

現場の硝煙匂いを
エンジンヨイする方が
楽しいぞ

無益な対話は
ここまでだ
ジャンナ



貴様らのような元犯罪者と
社会不適任者の歪んだ長所を
発揮させる舞台は

我々政府の極秘執行機関
『治外対応課』が与えた：

感謝の気持ちを持ちながら
上から伝達した任務を
遂行すればいい！



目標施設外郭・
確保しました！

よし

各員3分内
室内戦用装備に
換装せよ

この絶好の
チャンス
を逃がすな！



そうだ
このチャンスで上の
信頼を取り戻さないとも

これより
監査委員会の
皆様にー

状況の説明
また解決の提案を
ご報告します



本課の隊員「リン」が
許可なし単身で

国内のS級犯罪集団に対して
調査行動を実行しましたが

行動失敗によって
犯罪集団に無力化され
拉致されました



我々としては少ないと
言えない戦力の損失だが

このチャンスで
S級犯罪集団の
本拠地位置は

市内人工島区域で
運営中のリゾート施設
と判明しました

なるほど：
がっかりだねえ

ご心配ありません
こちらはすでに
対策である反撃計画
を講じてまいります

ただ物資と
人員の支援が
必要なので

ここで委員会の追加
支援賜りますよう
お願いいたします

違う違う
私をがっかり
させてるのは

キミなんだよ
ユツキくん

…!?

知ってるよ
わざわざこちらを
定期連絡以外の時点で
呼び出す理由

どうせ泣いて
助けを求める
しかないだろ

なのに私たちを
接待するのはまさか

奉仕プロセスが
強制中断されました
次の指示を
お願いします

このそっくりな
おもちゃロボだけなんて

失望するのは
当然だろう？

こんな時
キミも体を張って
全身全霊の誠意
を見せるべき
ではないか…？

うっ…



…お褒めいただき
恐縮です

会議を再開したい
のでよければ
早く終わらせて
ほしいのですが…

ん〜いいねえ
その淫猥なボディは
実に久しぶりだ



こらそう焦るな
私たちが楽しまないと
キミの望みも叶わないぞ

このシンプルな道理
ユヅキくんは一番
理解してるはずだろ…?

ぬる…



よいっしょ

いやあ
良い気持ちだねえ

生マンコの感触は
実に久しぶりだ

またこうなる...
このクンツァイ...

私の身分で迂闊に
風俗とかにいくと
マスコミに取り上げられる
かもしれないから...

本当に助かるよ

記録を残さないからって
上司権限を
乱用しやがって...!

こらこら
なんだその表情?

キミも
もっと喜べよ





ちよつなに
ぼーっとしてるの
マークスリー...

奉仕を続け
なさい！

それでも...

了解しました

えっ
ちよつと僕は
いいんですー

腹立っんだよ...



よくもエリート出身の私に
こういう破廉恥なこと
させやがって...!!

いいね
盛り上がってる
ではないか

私もそろそろ
我慢できないな...
ちゃんと受け取るんだよ？

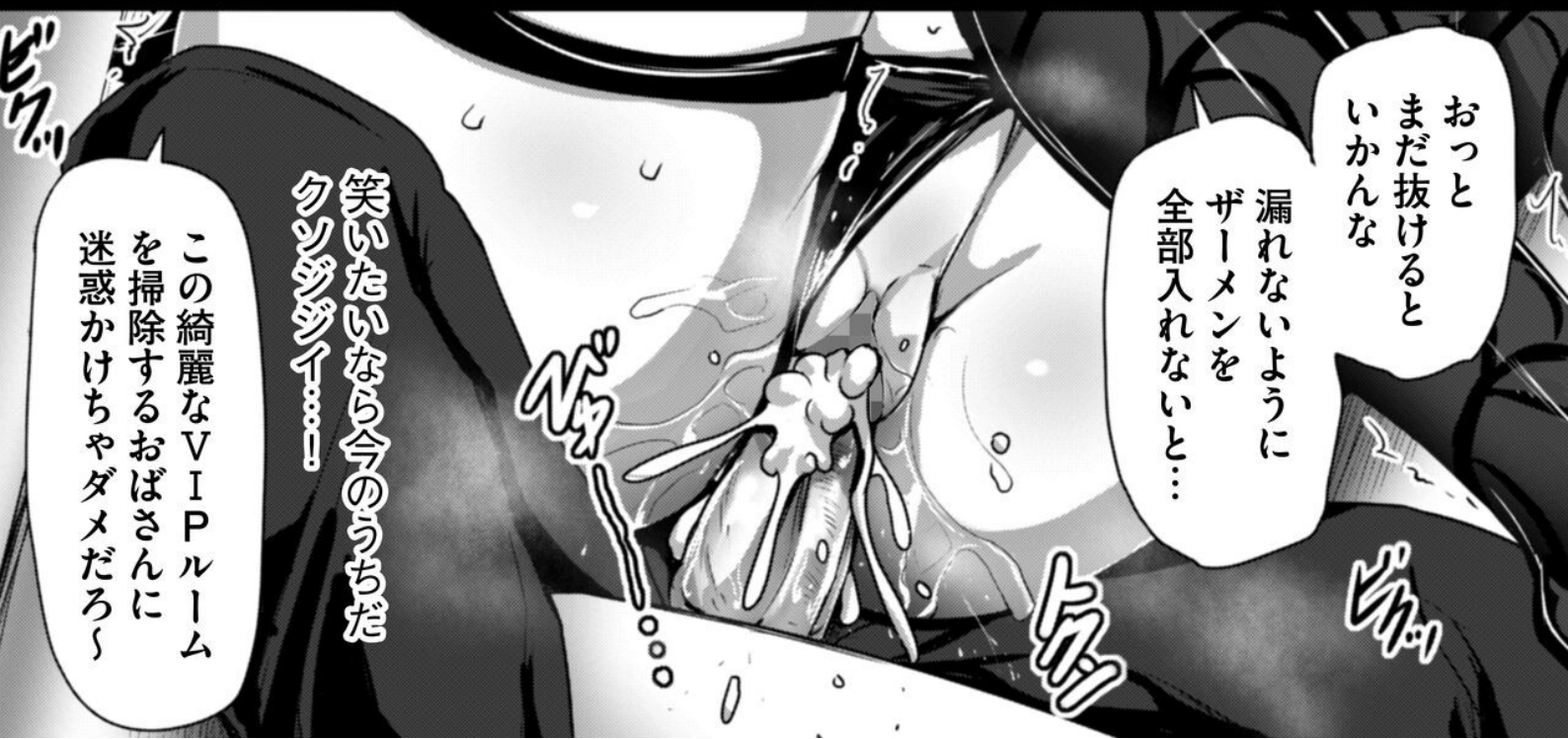
よく覚えてろ
貴様ら...



では
イクぞー

私はいつか必ず
てっぺんに辿り着く

その時は貴様らに
靴を舐めさせてやる……!



おっと
まだ抜けると
いかな

漏れないように
ザーメンを
全部入れないと……

笑いたいなら今のうちだ
クンジンジイ……!

この綺麗なVIPルーム
を掃除するおばさんに
迷惑かけちゃダメだろ



いや〜おかげさまで
煩惱が精液と一緒に
吹き出したね

これでなんとか
会議に専念できるぞ

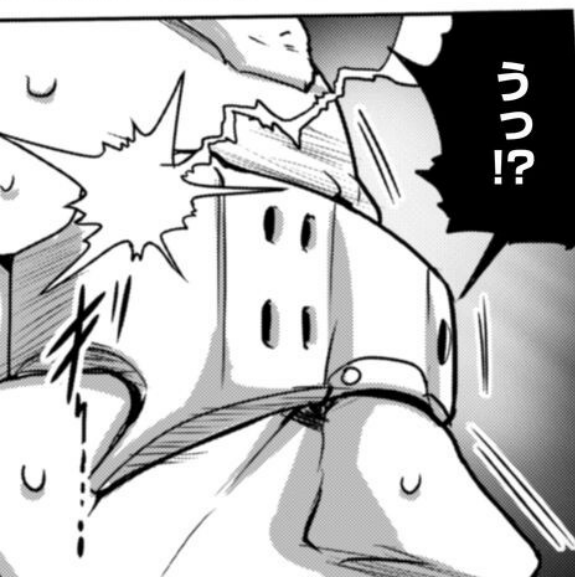
ところで
キミさっきなに
言ったっけ…?

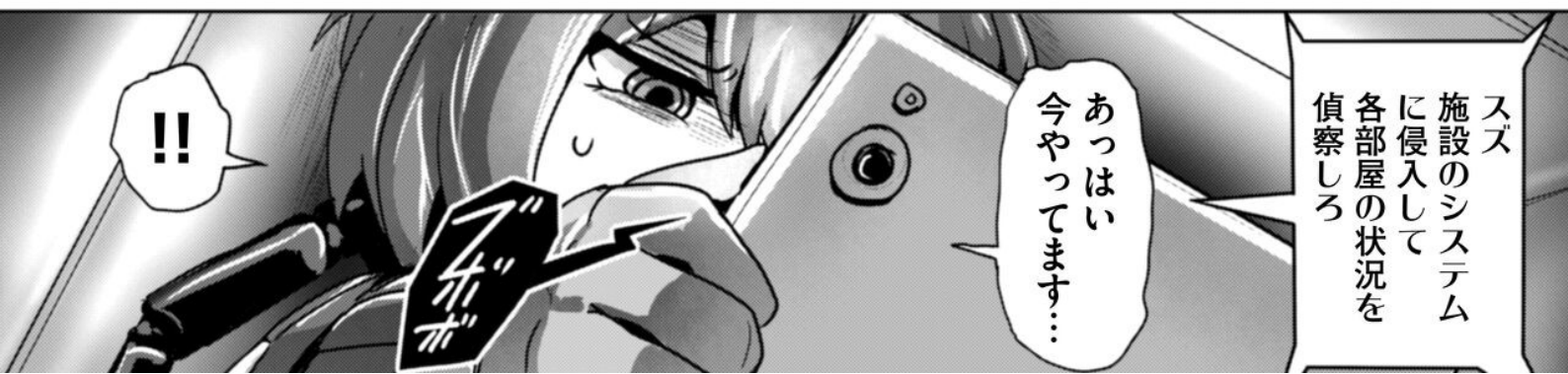
ハッ
アッ

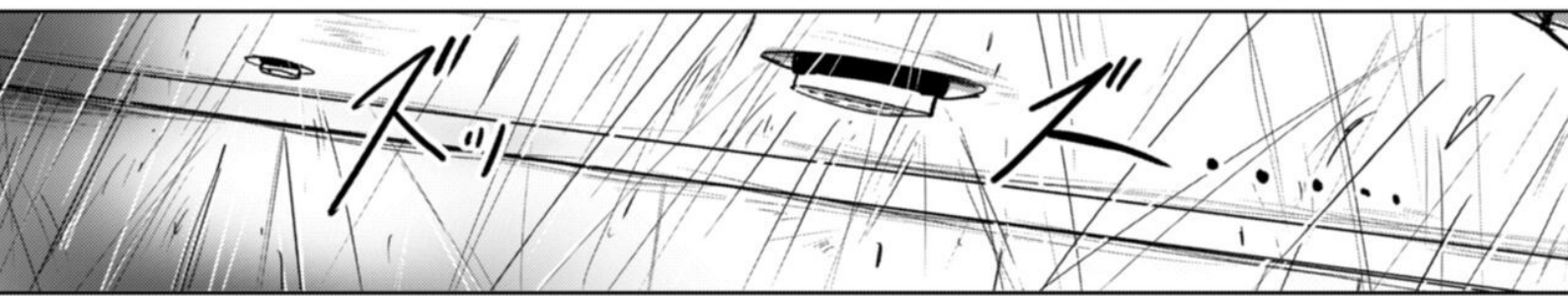
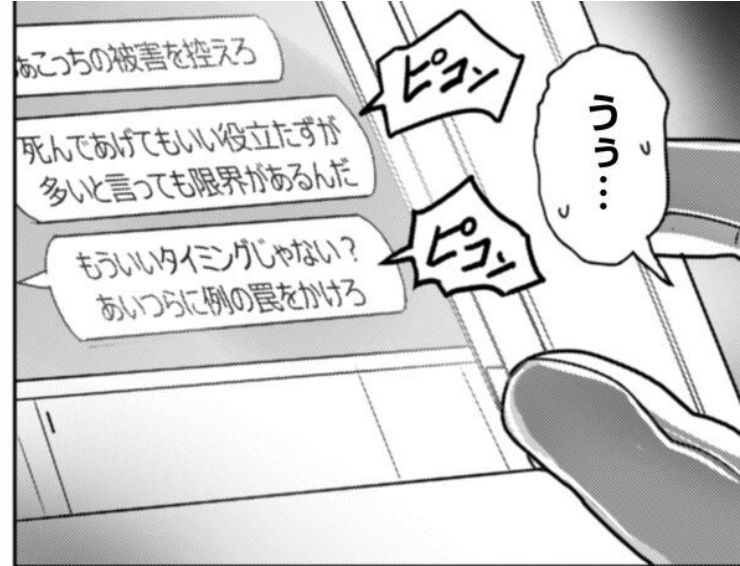
私の目的を
達成するため

もうこれ以上の
失態を晒さずと
はできない……









えっと
この前方ですね…

ここからカメラが
設置してないので
視覚情報がないけど

消防システムの
熱感知機能で
施設の深部で大勢の
反応を見つけました

もしかして相手は
籠城戦をする気
でしょうか…？

なるほどな…所詮
頭の足りん連中だわ

内部への通路は
一本道なのに
もう袋のネズミだ

課長

第二と第三
また第四小隊は
合流しました

よろしい

各員今のうちに
突入前最後の
装備チェックをしろ

練度も装備も
こっちの方が
圧倒してる
失敗は許さん

おい服が乾く
まで待って
くれねえかよ

さっきの水の
せいで全身変な臭い
プンプンしてるぜ

うるさいぞ
口を挟むな



今度は
なんなんだ？

なんだよ
めんどくせえ…

うっ…

グイッ

くっ…!!

ちよつと…
マジでおかしいぞ



なんか…
身体がどンドン
熱くなってるんだ

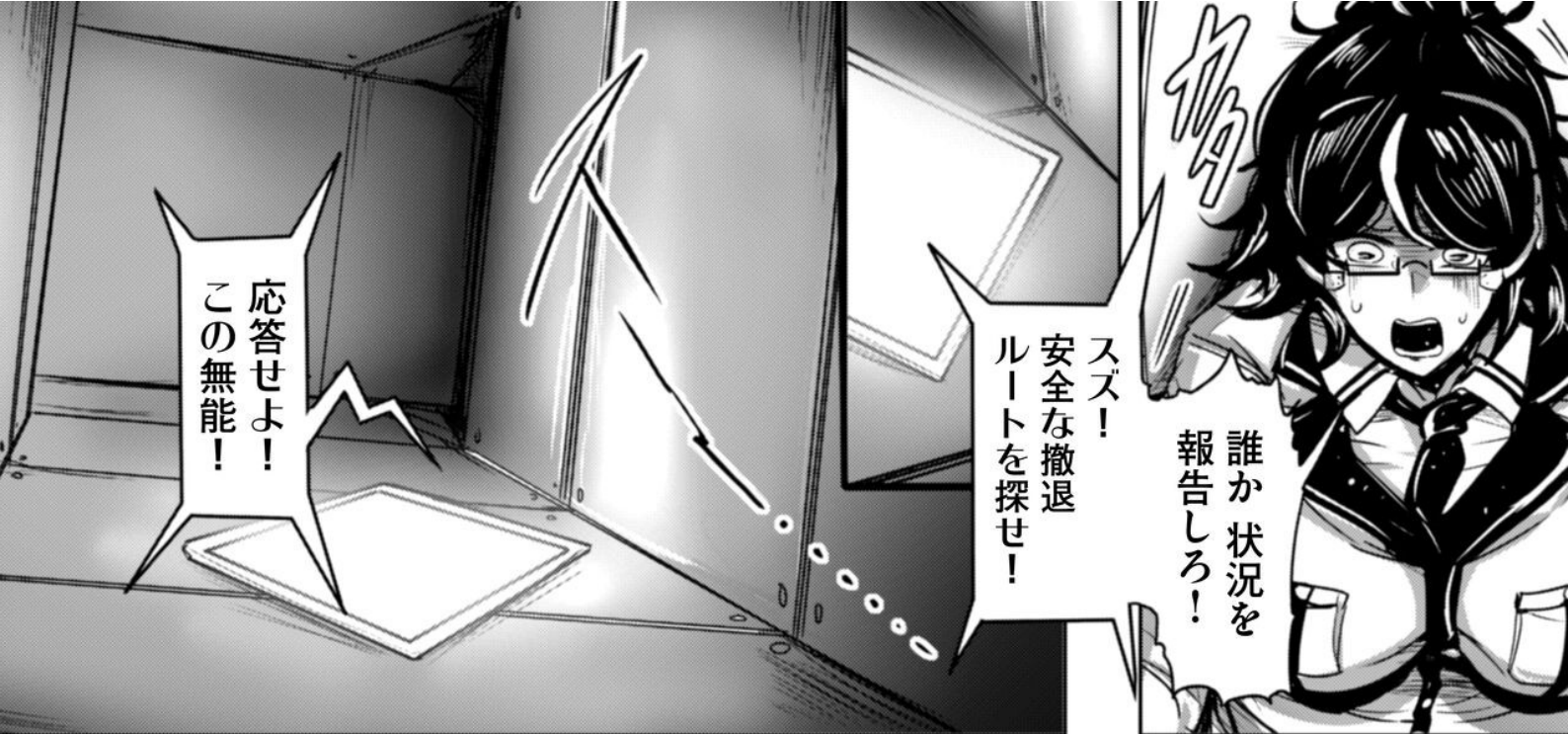
頭もボーっとする
どうなってんだよこれ…

なにを
バカな事を…

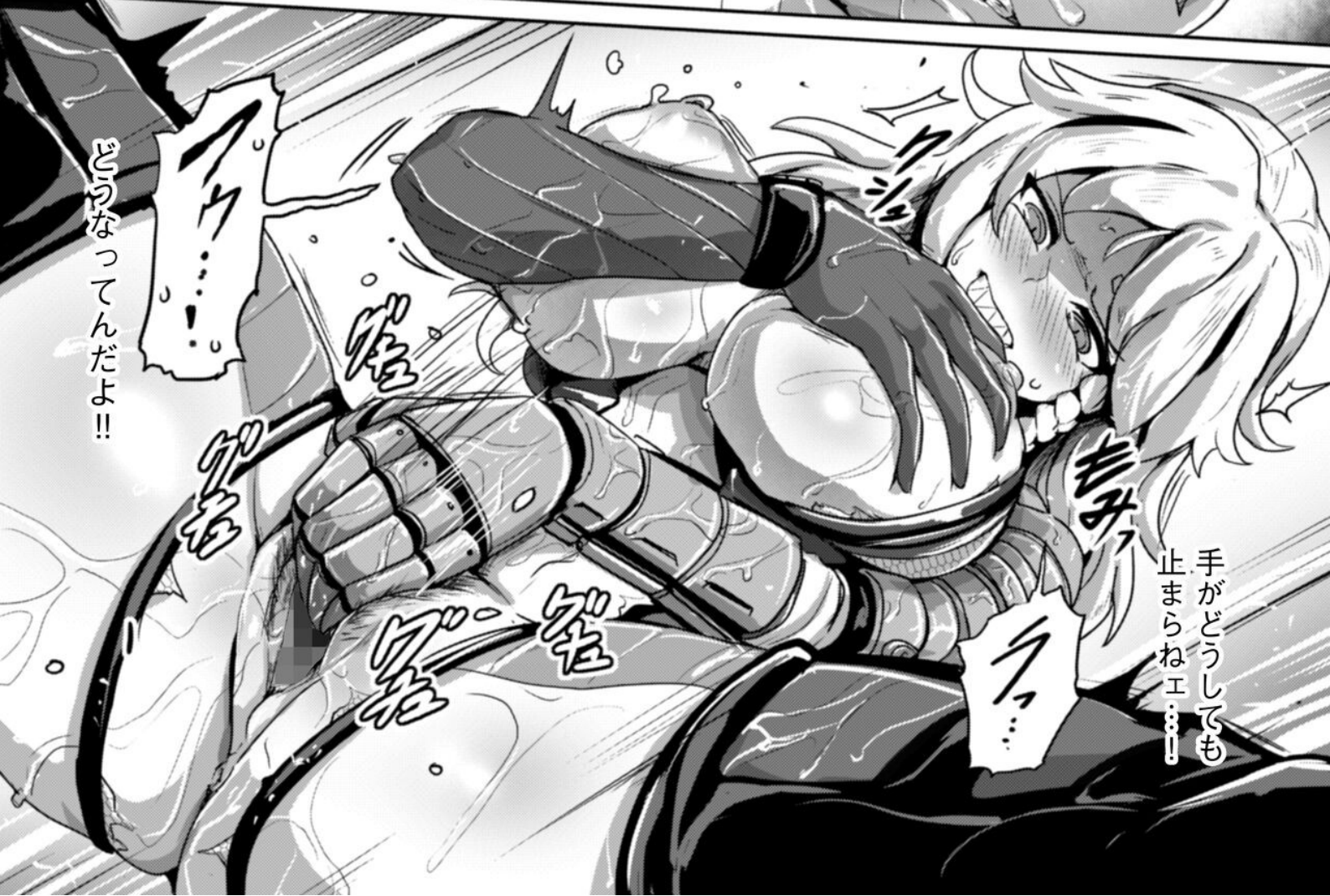
ケホッ…ケホッ…

!?











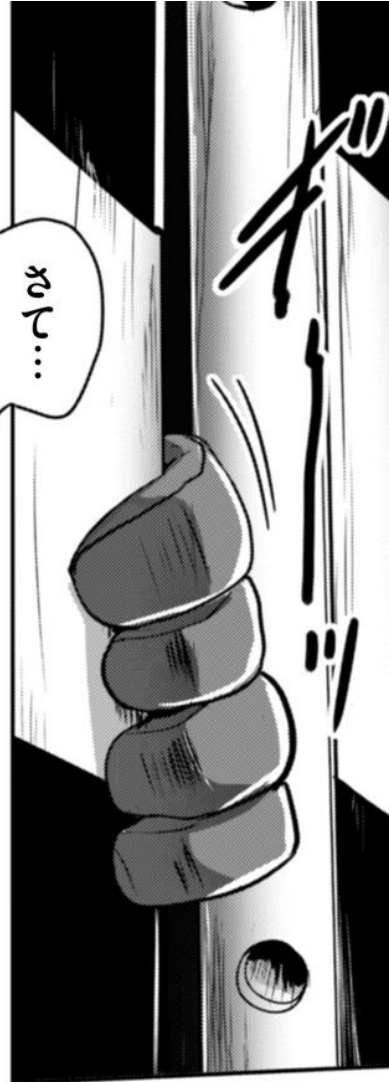




収穫の時間だぞ〜!

おい野郎どもっ

さて…



なあに
心配すんな

ボス
相手のカシラ
どうします?



こいつらは
大金になるから
気を付けて運ぶぞ〜

抵抗できる奴は
もういないはずだ

計画通り
全員捕まえる



いまから
捕らえるつもりだ

だがそれはー



あの
ドブネズミのチビと
ラジコンロボに

任せるんだよ



だれだ
マークスリーを
操作してるのは……!

くるな
貴様の
オーナーだぞ
私は!!





わかった？

必ず
無傷のまま
で届けて

了解しました



いますぐ

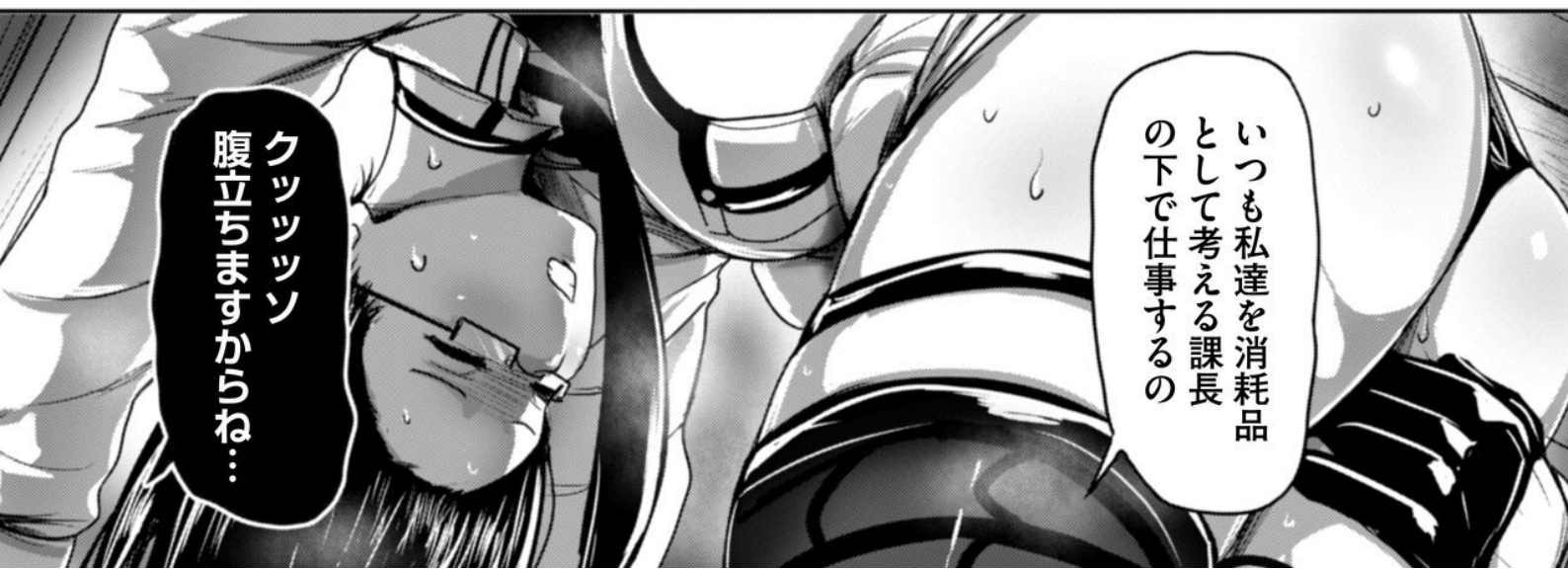
さっき設定した
地点Bまで運んで

次の指示を
ください



ごめんね
課長

相手がくれたお金
多すぎるし…



いつも私達を消耗品
として考える課長
の下で仕事するの

クッッッッ
腹立ちますからね…

あれ…
どこだここ…?

なんだこいつ
全然起き
ないな

ターゲットは
浅睡眠状態で
す

物理的の刺激は
有効と判断
します

だれか喋ってる…

そうだ…
私は捕まったらしい…

丁度いい

じゃあこれを
こいつにかけろ

了解しました

じゃあこいつらは—





マファイアボス・
フラミンゴ…!

いやー
まさかこんな簡単
だとは思わなかった

俺のナノマシンが含まれる
精液をスプリンクラーに
入れて散布する可能性を
考えなかったなんて

まじで
驚いたな



そのおかげで
ナノマシンによって
無力化した隊員を
大勢確保した

こいつらは
お宝だ!

体の中に政府の人員
だけが持つ高価な
部品が一杯ある

今頃もう
解体作業が
始まったぜ

ううそだ…



おのれ
犯罪者のクズの
くせになぜこんな
小賢しいことを…!!

そっちこそ
お前もしかして
ゴリ押しで勝つてると
思い込むタイプか?

どんだけ
頭お花畑なんだよ
部下たちも可哀想だぜ



我々の増援は
もうすぐ来る

今のうちに
首を洗って待ってる！

懲罰部隊のため
わざわざ出勤して
敗戦処理するって？

正規部隊に
そんな暇
ねえだろ

不燃ゴミ

私の口が裂けても
情報一字も言わないぞ!!

安心しなすでに
お前が寝てる時に
脳ハックして

有益データを
コピーしたよ

わ私が死んだら
怒る人が大勢
いるんだ...!!

へー
名前全員
教えな

卜報をちゃんと
そいつらに届けて
あげるから

あっ...

うっ...

カタ

カタ

分かったか？
お前にはもう
駆け引きできる
権力も立場も無く

ただの無力な
アホ女だ

まあまあ
心配するな

実はお前みたいな
負けメス犬のため
うちに良い転職支援
サービスを設置したぜ

ほら
こっち来い

いやああ!!
放して!!



イクうゝ!!

!?

これはうちに新設した
団体用娯楽ルームの
一つだ

丁度うちの若い衆
と新参のかわいい子
たちが利用中だね

あれは……！

!!



それはだめだ
アイツもう
うちの看板の
一人だからなー



エージェントリンだ…
やっぱりここに…!!

そういえば
聞いたぞ

お前がうちを
襲撃する目的の一つは
アイツを始末して
口封しすることだろ？



うちはちよつと
激しい方法を
使ったけどなあ

ははっ
人は変わる
ものさ



待て…
ジャンナも…!!

あんな男に触られる
だけで相手の脳みそを
潰すような恐ろしほど
荒っぽい女なのに…



ちよつ
ボス…

おお
これはうちの
新鋭の女幹部
じゃないか

今回はご苦労だな
なにか問題か？

うちの
優男のちんぽに
満足しないのかい？



スズ!!

貴様ッ
この裏切り者が!



違いますよ...
このまえ

仕事終わったら
もうあの女の顔を
見たくない

って私が
言ったのに...



貴様のせいで
私がこんな目にッ



だれが貴様の
ような恥知らずの
違法ハッカーに

罪を償うチャンスと
与えたのか忘れたのか!

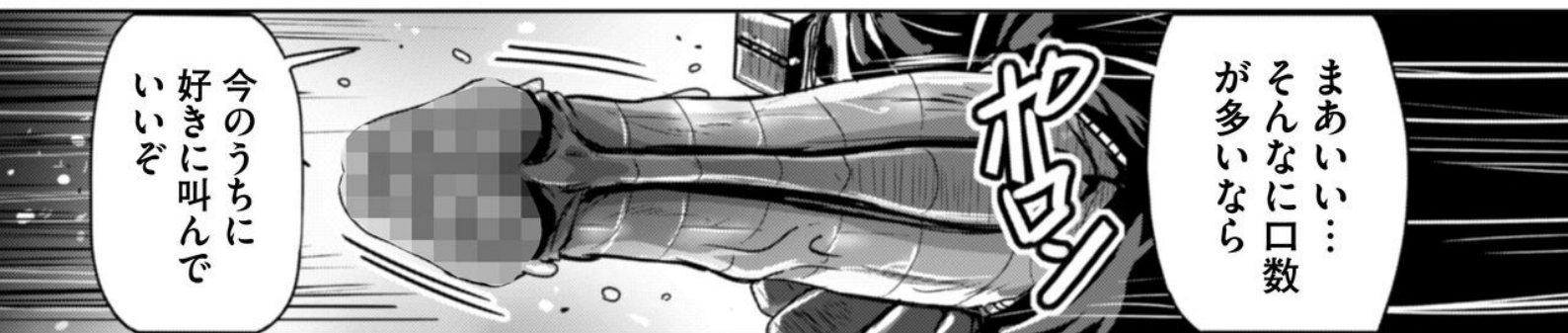


すげえな
お前…

こんな状況
でもべらべら
喋りやがって

無神経なのか
もう狂ってるか
どっちなんだよ

クッ…



まあいい…
そんなに口数
が多いなら

やロッ

今のうちに
好きに叫んで
いいぞ



これから
俺のナノマシン
ザーメンが

お前の脳みそを
二度と俺らに逆らうな
とたっぷり教育するぜ…

ダッ
ダッ



服邪魔だなあー



ぐっ

信じられない…
なんて破廉恥だ！

な…！

貴様ー！！

何の躊躇もなく
入れるなんて…ッ！！

へえ

よく言う
ねえお前



俺ははつきり
わかるぞ〜？

こんな
ゆるゆるな
おマンコが
何人の偉い人に
使われたか

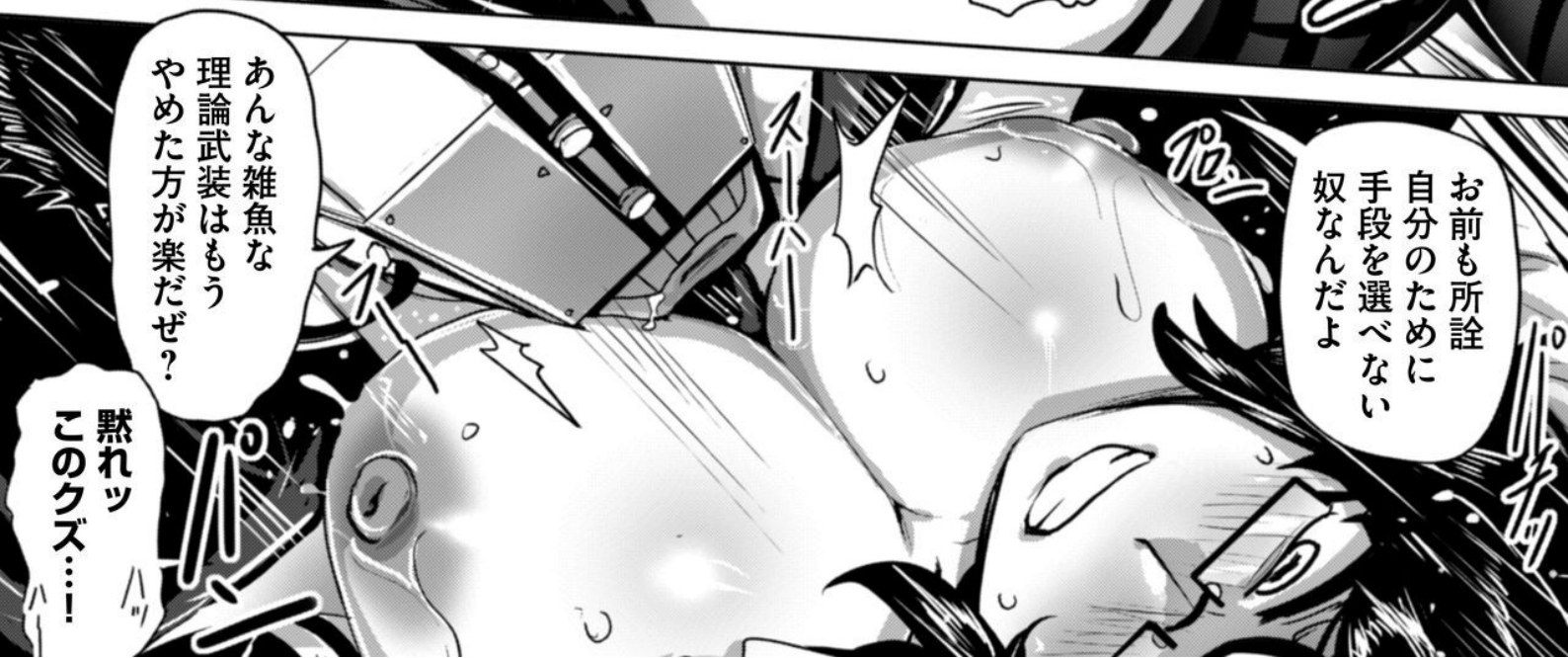


仕事の一環を

貴様の
くだらない拷問と

一緒に
するな…！

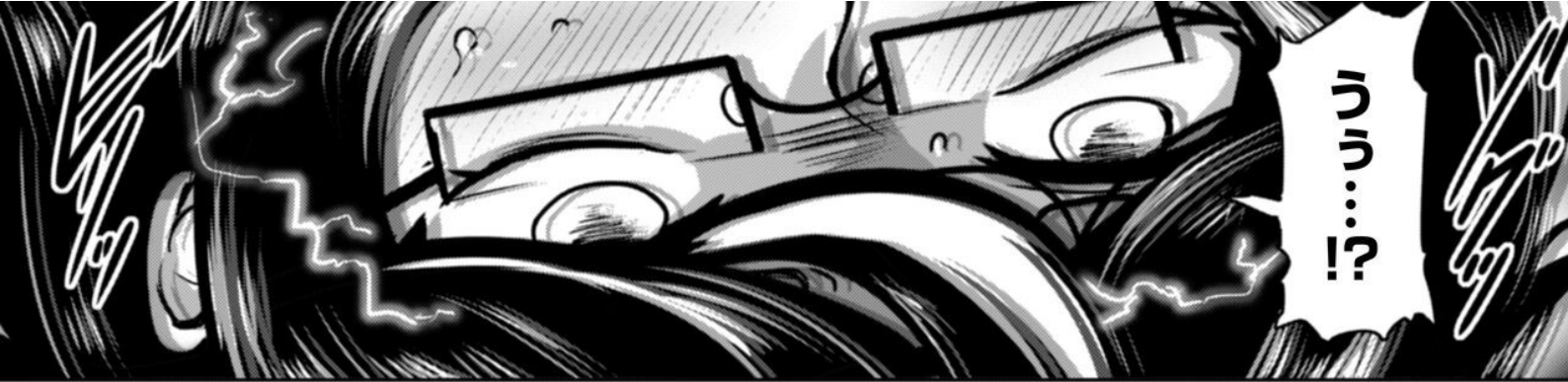
仕事って〜？
笑わせんなよ〜
表の社会で昇進のため
肉体を売るなんてただの
淫乱ビッチなんだよ



お前も所詮
自分のために
手段を選べない
奴なんだよ

あんな雑魚な
理論武装はもう
やめた方が楽だぜ？

黙れッ
このクズ…！



うう…!?



なんか急に体調が悪そうな顔をしてるよねえ

大丈夫かなー?



おやおや〜?

いまでかく
ビクッしたな



頭が…
熱い…
なぜだ…?

だがそんなに悪い気分じゃなくてむしろ心地の良い気持ちだろ?

それは俺のナノマシン精液がお前の電子脳の中で暴れ出してる徴候だ…



これはまずい...

こうして俺のザーメンを
お前の子宮に続けて
注入して

ナノマシンでお前の
悪そうな脳みそを
存分に弄れば

報告で読んだことある
サイバー攻撃だ...



こいつの言った通り
頭が痺れる...

お前もすぐ部下たちの
愉快な行列に加わって

もしかしてもう手遅れ!?

頭にハッピーな考え
しかない性奴隷
になるんだよ!

いやまだだ...!!
私はこんな奸計に
負けるはずが...!!

じよ冗談
じゃないわ
こんなもの...!!



おいまだ
疲れてない
やついるか？
こいつを分けて
やってもいいぞ

おおじやあ
お言葉に甘えて…



こらっ
チェンジだ
ロボット



ほう
じゃあいつまで
耐えられるのか
楽しみだぜ！



な…なんだ
貴様ら…！

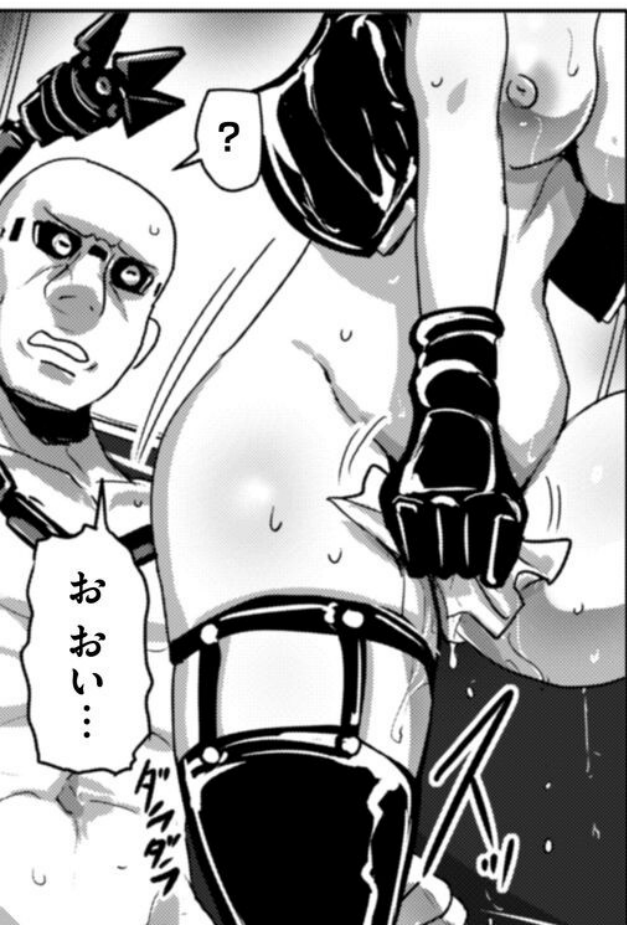
喉が渴いた
んだよ俺

サツのメス犬
のミルクでも
飲みてえなあ

私を触るな…
下っ端め…！

なんだあ？
このチワワより
弱ええ吠え声は

もっと
力入れるよ
へへっ

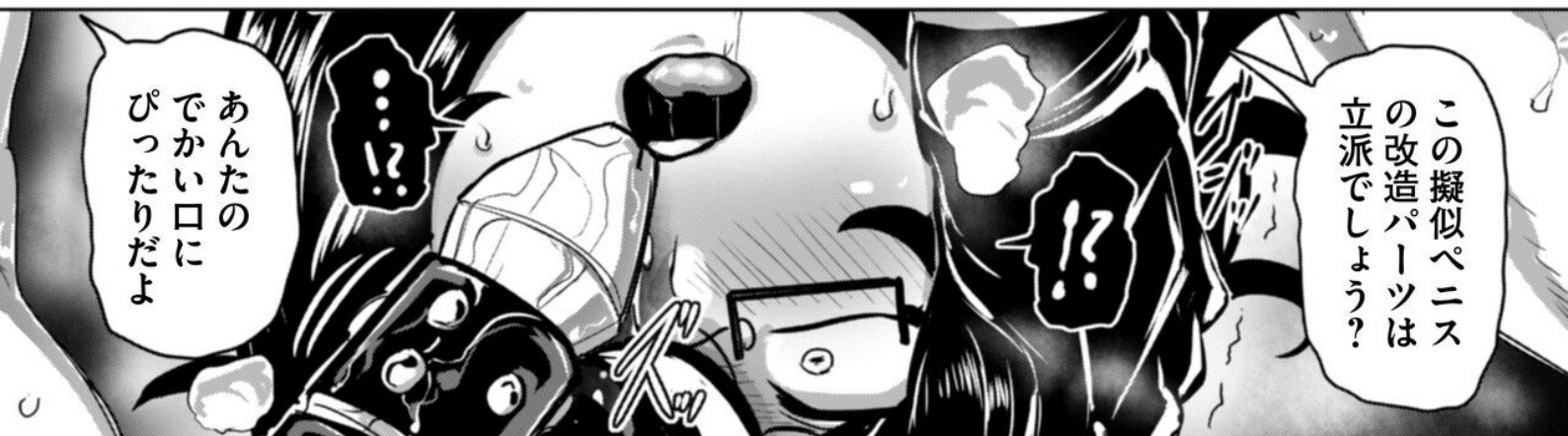






しかないみたいだね...

こいつで
あんたの口を塞ぐ



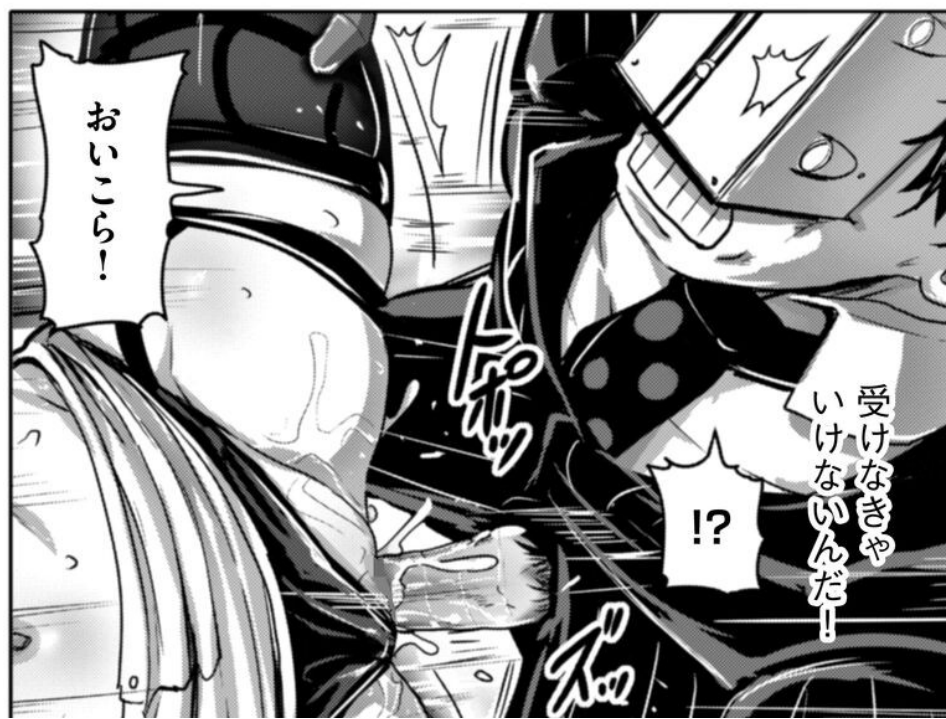
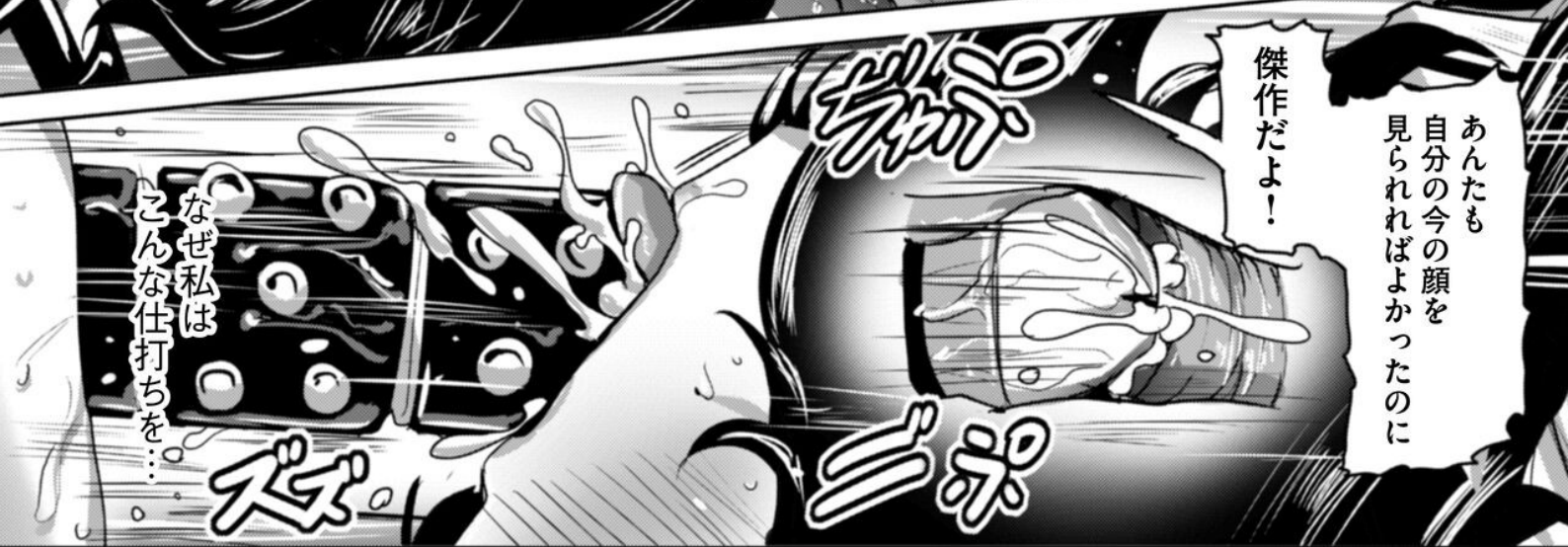
この擬似ペニスの
改造パーツは
立派でしょう？

あんたの
でかい口に
ぴったりだよ



ほら
受け取ってー

くださいよ!!





こっちが
抜けたら

どうするんだよ！



邪魔するんじや
ないぞおい

いまただの遊び
だけじゃない
大事なステップを
やってるんだ！



せっかくの
チャンスだから

いままで積もった
つらさと不満を
もっと返させて
くださいよ！



口から
真っ直ぐ脳内に
突っ込めそうな
擬似ペニス…



下から
粗くチンポを
ピストンされ
ビリビリする…



そちらは力入れすぎでしょう
こいつを
真っ二つにする気ですか！

熱いチンコ二つが

うわっ
なんだこりや

綱引き
ゲームかよ

串刺しみたいに
口とマンコをし
擦ってくる…

それはな

こっちの
セリフだよ！



体の熱さが
頭に伝って

やばい…
もう正気が…



もう
つかれた…

頭も身体も
めちゃくちやだ…
もう無理…!!



らめえもう逝っちゃう♡♡

ぽん♡

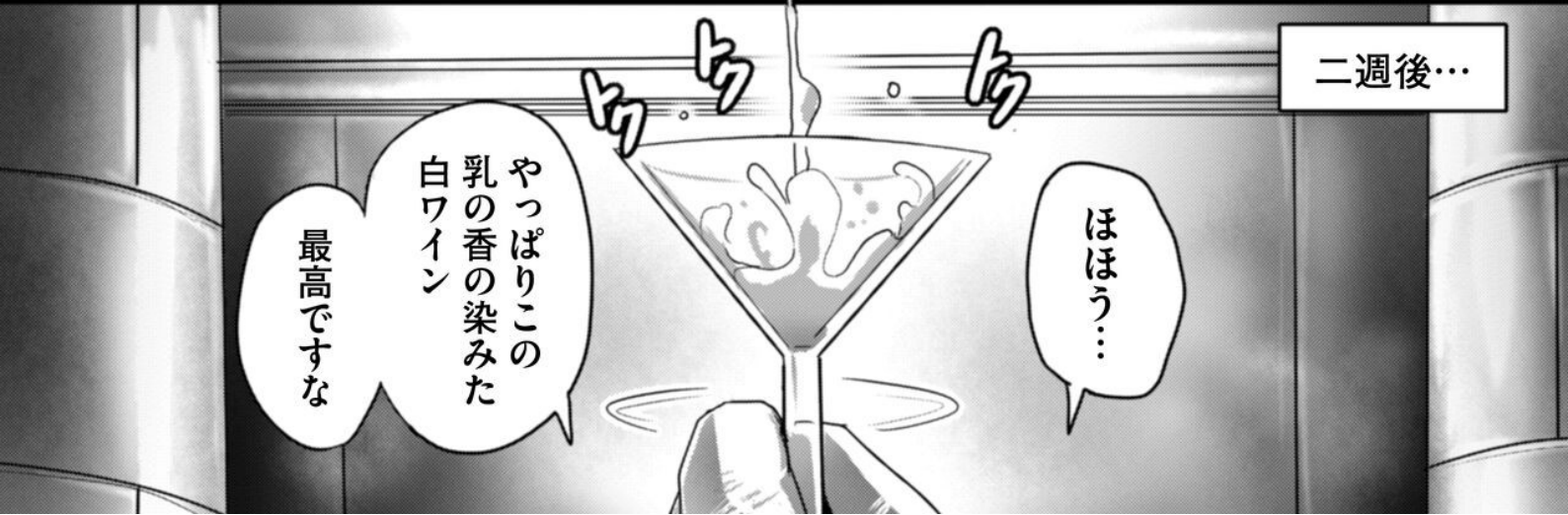
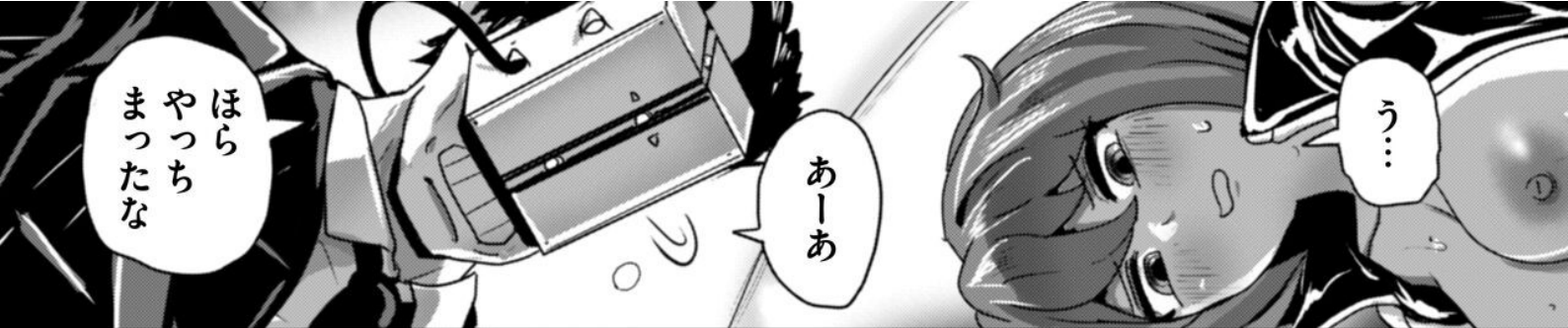


精液が私の意識を
少しも残せずに

頭から絞り出してる…♡

締めが急に……！







襲撃の被害が
元通りになるまで
再建できたのは
よかったです

フラミンゴさん

それは副大臣の
おかけですよ

あなたが警告と
内通者を提供
してなかったら

恐らくうちは
もっと被害を
受けたでしょう



いえいえ

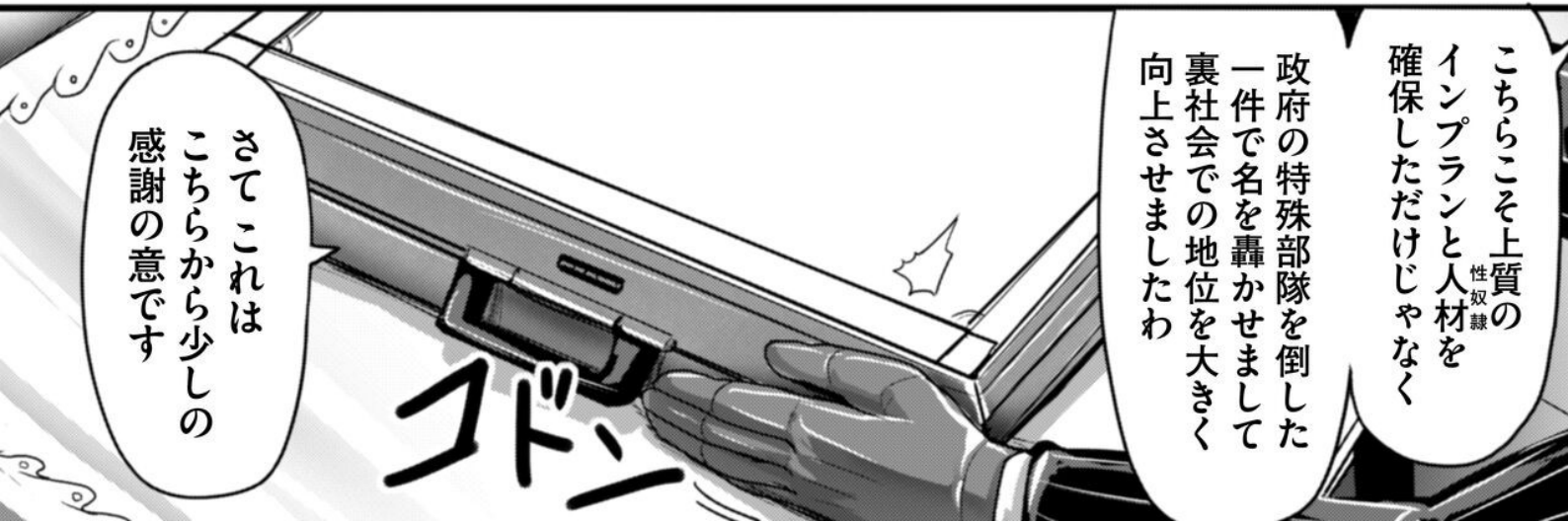
そちらこそうちの
話を聞かない雌獺犬を
代わりに始末してくれて
かなり助かりましたよ

ハハハ...

上の都合のため
設立した使い捨て
部隊のくせに

個人的な理由で
我々の大事な
商売対象に手を
出すなんて...

今度はもっと
コントロールしやすい
組織を作らないと



こちらこそ上質の
インプランと人材を
確保しただけじゃなく

政府の特殊部隊を倒した
一件で名を轟かせまして
裏社会での地位を大きく
向上させましたわ

さてこれは
こちらから少しの
感謝の意です

ゴドン



貴官の退職金の額を
参考にして用意した

山吹色の
お菓子です

今後とも末永い
お付き合いの
ほどお願い
申し上げますよ

ほほうほう...



いやあ
よかった

君はこんなに
大金になったよ

嬉しいだろ？
ユヅキくん

...おや
返事がないね

まあ大丈夫ですよ

この女は
黙れば美人って
タイプだから
ハハハッ

仕事以外の会話
まだ上手く対応
できませんね

申し訳ないです
設定ミスの関係で
彼女の脳改造の調整は
まだ完成してません...



WWW.HENTAIOMG.COM